



栃木県立宇都宮東高等学校



所在地 〒321-0912 宇都宮市石井町3360-1
電話 028-656-1311
F A X 028-656-7540
U R L <http://www.tochigi-edu.ed.jp/utsunomiyahigashi/nc2/>
創立 昭和38年
課程 全日制課程
設置学科 普通科
生徒数 473名（男子234名 名女子239名）
（令和3年5月1日現在）
利用交通機関 JR宇都宮駅からバス20分

I 学校の概要

1 学校教育目標

- 博く深く知識の修得に努め、自主積極的に事物を究明し、正しい判断力を養う。
- 心身を鍛練して、不撓不屈、堅忍持久、活動的にして、実践力に富む徳性を養う。
- 自他の敬愛と相互協力の理念に徹し、責任を重んじ規律を守り、協調融和の精神を養う。
- 自己を育んだ一切の他力に深く思いを致し、感恩奉仕の信情を高める。

2 目指す学校像

中高一貫教育校として、次の生徒を育成する学校

- 授業第一主義による確かな学力と、読書活動や教養講座などによる深い教養によって、人間性豊かで社会の発展に貢献できる生徒
- 科学的な見方や考え方を身に付けることによって、新しい知識の創造に貢献できる生徒
- 豊かな自己実現を目指すキャリア教育や、気力・体力の涵養のための特別活動の充実によって、未来を切り拓く意思と実践力を身に付け、リーダーとして活躍できる生徒

3 募集する生徒像

本校の教育目標と目指す学校像を理解し、次の（1）（2）の両方に該当する生徒

- （1）学習意欲が強く、将来について高い目標をもつ生徒
- （2）学校行事・生徒会活動・部活動など高校生活に積極的に取り組む生徒

4 沿革

昭和38年4月に宇都宮市内で2番目の男子校として開校。平成19年には、県内初の併設型中高一貫教育校となり、1期生105名が入学。附属中学校は各学年3クラス、高等学校では4クラス体制となる。附属中学校1期生が高校に進学した平成22年から学年進行で共学化され、平成24年に完全に共学校となった。平成24年10月に創立50周年記念式典を平成29年5月に附属中開校10周年記念式典を挙行。現在までの卒業生数は15,768名。

5 施設設備

5.4万㎡の敷地内に、南校舎（教室棟）、北校舎（管理棟）、家庭科実習棟、中高一貫特別棟、南体育館、北体育館、さらに国際規格の水球専用プール（35m×25m×2.2m）などがある。各教室はPTA設置による空調（冷房専用）完備。平成26年度には生活指導室（自彊寮）が完成。平成28年度には附属中開校10周年を記念して、自習室（自彊室）の整備をおこなった。平成29年度には格技場の改修工事が竣工した。

Ⅱ 学校、教育課程等の特色

1 学校の特徴

県内初の公立の中高一貫教育校として、平成22年度から学年進行で男女共学となり、平成24年度からは完全な共学校になりました。「集団の中で学ぶ」という学校教育の理念のもと、中高一貫教育校のメリットを最大限に生かすために、中高の6学年を「学びに向かう集団」にして「互いに高めあえる学校づくり」を進めています。「正しく・剛く・寛く」の校訓のもと、高い帰属意識のもとで勉強と部活動を両立してきた男子校時代の良き伝統を受け継ぎ、高い目標の実現に向けて一人一人の個性や創造性を伸ばしていく学校です。

2 教育課程の特徴

学科は、普通科のみ。「授業第一主義」を軸として、難関大学進学に向けて確かな学力と科学的な見方や考え方を身に付ける教育課程になっています。2年生から進路希望に応じて、文系・理系の2コースに分かれ、3年生ではさらに進路と適性に応じた科目選択ができるように配慮した教育課程を編成しています。

授業は、総合的な探究の時間とホームルームの各1時間を加えて週34時間です。

土曜日は、生徒が自由に登校して自学自習ができるように校舎を開放しています。また、3年生の2学期からは、大学受験の実力養成のための「土曜講座」を実施しています。

夏休みには、前・後期それぞれ1週間の課外授業を実施します。

Ⅲ 進路状況

1 令和2年度卒業生進路状況（実数）

学科名	進 学				就職	その他	計
	国公立大学	私立大学	短期大学	各種学校等			
普通科	84	63	0	2	0	10	159

2 大学合格者数（既卒生除く述べ数）

年 度	国公立大学	私立大学	短期大学	各種学校等
令和2年度	93	350	0	2
令和元年度	79	275	2	6
平成30年度	84	274	0	8
平成29年度	87	358	1	8

3 主な大学の合格者数（令和2年度卒業生）

【国公立大学】

北海道大3、東北大8、秋田大1、山形大4、福島大6、茨城大2、宇都宮大7、群馬大2、埼玉大3、千葉大2、お茶の水大2、電通大2、東京大3、東京外大1、東京学芸大2、東京工業大1、東京農工大1、一橋大1、横浜国大1、上越教育大1、新潟大4、金沢大1、信州大4、静岡大5、名古屋大1、愛知教育大1、京都大2、大阪大1、神戸大2、広島大1、高知大1、九州大1、福岡教育大1、宮城大1、会津大1、福島県立医大1、群馬県立女子大1、東京都立大4、横浜市立大1、都留文科大1、長野大2、静岡県立大1、長崎県立大1、北九州市立大1

【私立大学】

自治医大1、青山学院大6、学習院大5、慶応義塾大4、駒澤大6、明治学院大5、芝浦工大19、専修大2、中央大13、津田塾大2、東京女子大2、東京理科大15、東洋大15、日本大26、日本女子大2、法政大16、明治大14、立教大9、早稲田大8、関西大1、近畿大1、同志社大2、立命館大1

IV 特別活動等の紹介

1 学校行事

- 5月 創立記念式典・芸術鑑賞会（中高合同）
- 〃 体育祭（中高合同）
- 7月 合唱コンクール（中高合同）
- 9月 宇東祭（学校祭 中高合同）
- 〃 校内球技大会
- 11月 修学旅行:沖縄方面（2年）
高大連携大学講座
- 12月 PTA進路激励会（3年）
- 3月 卒業生による受験報告会
海外研修（希望者）

この他にも、外部講師による進路講演会など進路に関する行事がたくさんあります。



中高合同の合唱コンクール



中高合同の体育祭

2 部活動

- ・文化部：社会、音楽、美術、理科学研究、書道、食物研究、映画研究、英語ディベート、演劇、将棋
- ・運動部：陸上競技、サッカー（男）、バスケットボール（女）バレーボール（女）、ソフトテニス、テニス、卓球、剣道、野球（男）、水泳：水球（男）、水泳：競泳、弓道、バドミントン、応援
- ・ここ2～3年の活躍状況
関東大会以上の出場：水泳部（水球・競泳）、テニス部、陸上部、英語ディベート部、映画研究部、美術部



修学旅行（沖縄）



クラスTシャツで戦う球技大会

V 特色選抜について

1 定員の割合

普通科募集定員から内部進学による入学内定者を除いた定員の全部
※中高一貫教育に係る併設型高等学校の特色選抜における特例を適用する。

2 出願するための資格要件

高い向学心を持ち、自主的精神とリーダー性に富む生徒で、次の(1)(2)の両方に該当する者
(1) 大学進学へ向けての高い目標と強い意志をもっている者
(2) 学校行事・部活動などの諸活動に積極的に参加してきた者

3 選抜の方法

選 抜 方 法	内 容
面 接	集団面接 時間15分程度
学校独自検査	学校作成問題(国語・数学・英語) 時間各教科40分

4 その他、特記事項

本校は、中高一貫教育に係る併設型高等学校の特色選抜における特例を適用する。

5 選抜の手順等

【資料の取扱い】

- 1 志願理由書は、調査書とともに資格要件の確認に用いる。
- 2 調査書は、「各教科の学習の記録」(第1学年～第3学年)の評定(選択教科を除く)を合計し、200点満点に換算する。
- 3 面接は、段階評価を行う。
- 4 学校作成問題は、各教科100点満点で採点する。(合計300点満点)

【選抜の手順】

次の各段階に該当する受検者について順に、調査書の点数化されない部分の内容を考慮して総合的に選抜する。

第1次審議

【資料の取扱い】の2及び4の合計点の順位が特色選抜の募集定員の80%以内にある者(ただし、受検者が定員に満たない場合は、受検者の80%以内にある者)で、面接の評価が良好である者を合格内定とする。

第2次審議

第1次審議において合格内定となった者を除いた全ての受検者について、全ての検査結果を総合的に判断して、合格内定者を選抜する。



中高生がお気に入りの本を紹介し合う図書館談話会
「子どもの読書活動優秀実践校」
文部科学大臣表彰受賞



「総合的な探究の時間」
SDGsをテーマに取り組んだ探究活動の成果を発表